

会 議 録

会議の名称	令和7年度第1回飯塚市公民館運営審議会
開催日時	令和7年7月28日(月) 午後2時00分～午後2時40分まで
開催場所	穂波支所 2階 会議室202
出席委員	下田 稔、嶋田 千鶴、渡邊 秀人、白土 正敏、福澤 達男、 小池 千津子、吉田 直樹、荒木 尚友、深町 啓子、堀江 鈴子、 伊佐 便 以上11名
欠席委員	白土 正敏、矢野 由香
事務局職員	生涯学習課長 松村 浩史 生涯学習課長補佐 石川 律子 生涯学習課 中央公民館・図書館係長 安藤 亜妃 生涯学習課 中央公民館・図書館係 山本 麻貴

会議内容	<p>審議に入る前の経過 定刻に至り、事務局より開会を告げた後、審議に入る前に以下の進行を行った。</p> <p>(1) 新委員紹介・委嘱状交付 今年度、人事異動に伴い、委員が1名交代されたことを説明。 学校教育関係者の飯塚市立鯉田小学校校長「矢野 由香」委員。 任期については、令和7年度6月27日から令和8年6月30日までの前任者の残任期間。 委嘱状交付においては、新委員である矢野委員が欠席のため、後日、委員へお渡しする。</p> <p>(2) 教育委員会挨拶 生涯学習課長(松村)からのあいさつ</p> <p>(3) 本審議会の運営について 「飯塚市公民館運営審議会」の設置及び開催根拠を社会教育法(抜粋)及び飯塚市公民館条例(抜粋)にて説明。 また、令和6年度に生涯学習課で行った事業を取りまとめた「飯塚市生涯学習体系」と、飯塚市の生涯学習における中央公民館の位置づけについて記載した「ライフステージ別事業について」を紹介した。</p> <p>以下の議事は下田委員長が進行</p> <p>(4) 【議 題】 【1】議案 議案第1号 副委員長の互選 前任の城戸副委員長が人事異動に伴い、委員が変わられたため、改めて副委員長の互選を行った。</p>
------	---

立候補者・推薦者なし⇒事務局推薦（異議なし）
副委員長に嶋田委員を事務局が推薦する。
⇒異議なし
嶋田新副委員長あいさつ

議案第2号 令和7年度飯塚市中央公民館事業年間計画及び事業年間スケジュールについて

資料を基に、中央公民館及び12地区交流センターにおける、サークル・講座の実施状況について、実施種目や参加人数等の説明を行った。また、中央公民館系の事業進捗状況について、コスモス大学、中央公民館講座、コミセンまつり、いづか市民マナビネットワーク、二十歳を祝う会について、過去の実績や現状を踏まえ報告を行った。

・中央公民館事業年間計画について

(ア) コスモス大学

今年については、イイヅカコミュニティセンターの改修工事のため、休講となっていることを報告した。

(イ) 中央公民館講座

今年度は、STEAM教育体験講座2025 in いづかを10講座実施。コミュニティセンターが改修工事のため、4日間4会場で行い、庄内、鎮西、穂波交流センター、ゆめタウンで行うことを報告した。

(ウ) コミセンまつり

コミュニティセンターで学習する生徒や、各種団体の成果発表、生涯学習の振興を目的に開催し、サークル生やその他団体のステージ発表、展示やe-マナビお試し体験会を行っている。

今年度については、コミュニティセンターの開館が3月予定のため、準備等の関係上、例年より開催が遅くなるが、実施する方向で検討している。そのため、現時点では開催日を未定としていることを報告。

(エ) いづか市民マナビネットワーク

指導者を発掘養成し、その活用を図ることによって市民の相互教育・相互学習の機会を高め、連帯感及び相互援助の精神を担うことにより、活力ある生涯学習社会の形成を図っている説明を行った。

現在、27学級が開設し、273名の方が学習していることを報告。

(オ) 二十歳を祝う会

今年度は、令和8年1月11日（日）コスモスコモンにて開催。平成17年4月2日から平成18年4月1日生まれの方が対象とし、6月末時点で1,261名であることを報告。

・中央公民館事業年間スケジュールについて

今年度、e-マナビ、サークル事業においては、コミュニティセンター改修工事のため、各交流センター・コスモスコモン、ゆめタウン（ゆめホール）等で活動していることを報告。

また、イイツカコミュニティセンターの施設改修及び整備事業について説明を行った。

休館期間は令和7年5月から令和8年2月までの予定とし、市民の方の利便性や利用促進を図るため、第1・3日曜日が休館日だったが、第3日曜日のみに変更。

そのため、3月1日（日）からの再開となる旨を説明。

⇒質問及び意見なし

議案第2号について承認。

【2】報告

報告第1号 令和7年度生涯学習課所管事務の概要について

資料を基に、生涯学習関係課組織図をもとに配置職員と所管事務について説明した。生涯学習ボランティアネットワークについて、令和4年以降はボランティア登録数・件数ともに増加していること、ブックスタート事業についての配布方法を説明した。また、「飯塚市少年の船」事業については令和5年度より再開し感染症対策のため、往復飛行機での実施の旨を説明した。

⇒質問及び意見なし

(5) その他

⇒委員より意見

①（委員）現在、自治会の加入率が悪い。まち協や生涯学習課においても全てに関わって来ると思う。

地域に溶け込んでもらうためにもできる限り加入していただきたい。若い方はメリットがないから入らない。地球温暖化の影響で、災害等何が起こるか分からない状況のため、地域住民の横のつながりが大切となるため、自治会の加入率を高めていきたい。

できる限りのご協力をお願いしたい。

⇒委員より質問

②（委員）交流センター等は名称が変わっているが、なぜ中央公民館とう名称のままなのか。

（生涯学習課長）各地区交流センターは、2つの役割を担っている。まちづくり協議会を主体とした地域団体の活動拠点としての役割と、公民館が行っていた生涯学習の社会教育面の二つが合わさり、交流センターが成り立っている。

	<p>社会教育事業も継続してやっていくため、昔からある公民館事業を統括する、まとめるのが中央公民館の役割という意味合いで、名称が残っている。</p> <p>⇒委員より質問</p> <p>③（委員）サークル関係についてだが、緩和されたとのことだが、どんな緩和を行ったのか。</p> <p>（生涯学習課係長）今回、生涯学習課長が特別に認めた場合（5人以上で構成されるグループ）が追加された。</p> <p>生涯学習課長が特別に認めた場合とは、通常のサークルと同様に設置基準を遵守し、5人以上のグループであること。ただし、10人未満のサークルが、10人以上の基準を満たす猶予期間は3年としている。</p> <p>3年間の間に10人以上のサークルになるよう、サークル生の勧誘に努めることになっている。</p> <p>⇒事務局よりお知らせ</p> <p>①飯塚市立図書館について</p> <p>飯塚図書館は令和8年3月末まで休館予定となっている。休館期間中は、イヅカコスモスコモン 休憩室にて「サテライト飯塚」を実施し、臨時窓口を開設。新刊の貸出や本の返却受付、新聞の閲覧を行っている。</p> <p>②第2回公民館運営審議会について</p> <p>次回の公民館運営審議会については、来年3月頃を予定。</p> <p>以上をもって全ての審議が終了したので、午後2時40分に閉会を告げて解散した。</p>
<p>会議資料</p>	<p>令和7年度第1回 飯塚市公民館運営審議会資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 会議次第 ② 飯塚市公民館運営審議会委員名簿 ③ 社会教育法（抜粋） ④ 飯塚市公民館条例（抜粋） ⑤ 飯塚市の生涯学習体系及び同ライフステージ別事業について ⑥ 中央公民館事業計画 ⑦ 中央公民館事業年間スケジュール ⑧ 生涯学習課所管事務の概要について ⑨ サテライト飯塚について
<p>公開・非公開の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1 公開 2 一部公開 3 非公開</p> <p>（傍聴者 1人）</p>
<p>その他 (非公開理由等)</p>	